

4.市民意見の集約

(1) 計画の策定に際して

本計画の策定にあたっては、様々な市民の意向を取り入れ、それを計画の内容に反映するため、基本コンセプト、レイアウトを構築するにあたり、市民に対して次の意見集約を実施した。

- ・「みのおサンプラザ等公共施設再配置計画検討懇話会」の運営。
平成 17 年 1 月～7 月
- ・みのおサンプラザ内公共施設利用者へのアンケート調査の実施。
平成 17 年 2 月 16 日～3 月 15 日
- ・パブリックコメント
平成 17 年 5 月 20 日～6 月 15 日

(2) 検討懇話会による意見集約

1) 検討懇話会について

本計画の策定にあたり、広く市民の意向を参考にし、中心市街地の活性化や市民利便の向上に資する構想をつくることを目的として、「みのおサンプラザ等公共施設再配置計画検討懇話会」を立ち上げた。

平成 17 年 1 月～7 月の間に計 5 回の懇話会を実施して、以下の検討課題に対し、関係者及び専門家 14 名（第 4 回以降 16 名）を招集、提言を集約、本計画を策定する上での参考とした。

（委員構成及び活動内容は 45～46 ページ参照）

検討課題

- ・市民生活に資する公共施設のあり方。
- ・中心市街地活性化の目標に則った、サンプラザ 1 号館の公共機能再配置のコンセプト。
- ・再配置において組み込む機能、ターゲット、レイアウト等のイメージ。
- ・箕面駅前周辺の活性化についての方策。

2) 再配置案策定にあたっての懇話会委員の意見

サンプラザ 1 号館内の公共施設の機能再編について

現状の問題点指摘	改善に向けての提言
・現在は貸床機能しかなく、サークル活動等の目的のある、限られた人しか利用しない。外部から人を呼び込む機能がない。	・立地的に市民（多世代）の日常の交流の場として、また、若者等が自由に集い、活動発表ができる場としてフリースペースが必要である。
・会館的な使い方だけでは、本来の箕面のよさや活性化の芽は生まれてこない。	・立地的に観光という側面からも、箕面のよさを周辺地域に発信する機能を付加すべきである。
・市民ギャラリーは市民展の際には面積が足りず、複数の階にまたがって開催している。また、日常的に使わない場合には、大面積の部屋は空間が無駄になっている。	・配置する機能のコンセプトを整理して、イベントの際には一体的に一つの空間で行えるよう再配置すべきである。また、小規模な個展にも対応する空間が必要である。

機能再編に伴う施設の改修・整備について

現状の問題点指摘	改善に向けての提言
・築後 25 年が経過し、設備が老朽化している。 ・会議室、和室が狭く、遮音性が低い。人が多く集まると、共用部を通して音が他の階に響く。 ・会議室の備品（机・椅子）が古い。	・再配置の検討と同時に、実施設計において設備面での改修を行うべきである。また、8 階大会議室には集客面を向上させるため、イベント用の舞台設置等を検討すべきである。

動線の見直しについて

現状の問題点指摘	改善に向けての提言
・公共フロアになる地下 1 階と、1～2 階の商業フロアとの間に繋がりが無い。	・それぞれのフロアの利用者を回遊させられ、互いの集客性を高めるような動線が必要である。
・3 階は、貸床が使われていない時間は、屋上広場と屋内を行き来できない構造になっている。屋上広場に行くのに外部階段しか使えず不便。	・3 階エレベーターホールを改修し、互いに行き来できる動線を確保し、屋内外空間を一体的に活用できる工夫を検討すべきである。
・現状ではバリアフリーに未対応な箇所が多く見受けられる。	・バリアフリー化は駅前立地の利便性を活かすための基本。これを機に改善すべきである。

サンプラザ 1 号館内の商業施設の活性化について

現状の問題点指摘	改善に向けての提言
・バブル崩壊後、空床が増え、個々の店も経営が厳しい状態にある。建設当初に比べて公共機能と商業機能の相乗効果が薄れてきている。	・地域商業活動のあり方として、地域住民との交流を多く持つべきである。公共機能の方で集客する工夫を凝らすなどして、商業との相乗効果を図るべきである。

郷土資料館の機能の移設について

移設に対する問題点指摘	改善に向けての提言
<ul style="list-style-type: none"> ・サンブラザの階高や必要な床面積の確保の関係で、郷土資料館の展示室を移設するならば地階になるが、郷土資料は祖先の生きた証であり、また保存上の問題点もあり、地階へ移設するのがよいかどうか疑問がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地階に置く展示室等は、空調、防災面で保管場所として然るべき設備が整えられるよう、実施設計において十分な検討を行うべきである。 ・郷土史料等、紙類は別に保管に適した場所に設置すべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・他の施設と機能的に輻輳すると、集客施設の騒音が入り、資料館として環境的に適さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館は他の施設と別個に区画を行い、他の施設と空間的に混じるような配置を避ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用者数は年間 4,500 人程度であり、駅前への移設を機に、もっと多くの方に利用してもらいたい。しかし、箕面市の郷土資料は過去の生活道具等が主であり、学習・研究素材ではあっても特段高い集客性は持たない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来街者のニーズにあわせた箕面の自然についての紹介などを加え、歴史資料館としての付加価値及び、集客性を高める。新たな資料等を用意する必要があるが、ソフト面、発信面においての TMO の支援等も検討すべきである。

サンブラザ 1 号館内の施設の管理運営について

現状の問題点指摘	改善に向けての提言
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の施設の管理運営が別々である。また、公共施設の事務所機能と活動の場が別々であり、使い勝手がよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の施設機能の相乗効果が発揮できるような利用勝手や機能充実を図れるよう、施設全体の管理運営のあり方を検討すべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設は、全体の営業時間の調整が取れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個店の営業時間の調整等を図りつつ、独自性のある店舗を活かす仕組みを構築すべきである。

サンブラザ外周及び周辺環境整備について

現状の問題点指摘	改善に向けての提言
<ul style="list-style-type: none"> ・サンブラザ 1 号館と池田銀行の間の一段高いアーケードは、雨避けにもならず機能的でない。構造体、設備共に老朽化が進んでいることに加えて 1 号館北側のアーケードと共に、駅前から見て閉鎖的な印象を与えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンブラザ 1 号館と池田銀行の間の一段高いアーケードについては、撤去して駅前からのサンブラザの玄関周りの印象を改善すべき。1 号館北側のものについては、将来的には撤去を視野に入れつつも、当面は改修すべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・箕面駅前第一駐車場、駐輪場は、老朽化が進み、外観が通りとそぐわない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルロードの整備と合わせた駐車場、駐輪場の外観の美装化を行うべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前には交通の便がよいが、その反面、歩行者空間の利便性が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーを含め、駅及び駐車駐輪場からの歩きやすい空間づくりについて、今後の施策に波及するよう検討すべきである。

(3) みのおサンプラザ内公共施設利用者へのアンケート調査の実施

1) アンケート調査実施について

アンケートの目的

- ・みのおサンプラザ内の公共施設である箕面文化センター等の再配置の円滑な実施につなげるため、計画策定に向けての取り組みの情報提供を兼ねてアンケートを実施し、箕面文化センター等を利用している市民の意見を聞き集約する。

アンケートの設問項目

1.サンプラザの利用状況について

- ・利用している公共施設の種類と、利用頻度、利便性
- ・共用部、館内情報の利便性について
- ・サンプラザ 1 階、2 階の商業施設の利用頻度について

2.サンプラザ内の公共施設の再編にあたって

- ・サンプラザ内にあればよいと思う公共機能及び、公共施設
- ・サンプラザ内の商業店舗について、あればよいと思う業種、要素

アンケート対象者

- ・箕面文化センター利用者

実施方法

- ・文化振興事業団を通じ、利用申し込み者（団体）、利用者に配布改修。

実施期間

- ・平成 17 年 2 月 16 日～3 月 15 日

回答件数

- ・90 件

2) アンケート結果

サンプル（回答者）の特性

【1】年齢、性別

		年齢									
		全体	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
性別	全体	90(人) 100.0%	1 1.1%	2 2.2%	8 8.9%	8 8.9%	20 22.2%	31 34.4%	8 8.9%	3 3.3%	9 10.0%
	男性	26 28.9%	1 1.1%	1 1.1%	4 4.4%	2 2.2%	4 4.4%	10 11.1%	4 4.4%	0 0.0%	0 0.0%
	女性	55 61.1%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.4%	6 6.7%	16 17.8%	21 23.3%	4 4.4%	3 3.3%	0 0.0%
	無回答	9 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.0%

61.1%が女性であり、年齢別では60歳代が全体の34.4%を占める。今回のアンケートの回答者で最も多いのが60歳代の女性で、全体の23.3%を占め、続いて50歳代の女性(17.8%)、60歳代の男性(11.1%)となっている。50歳より下は全体の約21%しかおらず、アンケートのサンプルの範囲内であるが、現在のサンブラザの公共施設の利用者に高齢者の方が多いことが推測できる。

【2】利用交通機関、住所

		利用交通機関							
		全体	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	電車	無回答
住所 (市内・市外)	全体	90(人) 100.0%	30 33.3%	11 12.2%	2 2.2%	14 15.6%	7 7.8%	13 14.4%	13 14.4%
	市内	65 72.2%	28 31.1%	11 12.2%	2 2.2%	9 10.0%	7 7.8%	5 5.6%	3 3.3%
	市外	12 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.4%	0 0.0%	8 8.9%	0 0.0%
	無回答	13 14.4%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	10 11.1%

回答者全体の45.5%が自宅から徒歩ないし自転車でサンブラザを利用されている。(1km圏内(箕面・西小路・新稲・桜・坊島・稲)から利用されている方が回答者全体の43.3%を占めている)。市外から利用されている方は全体の13.3%であり、遠方から来られる人は自家用車よりも電車で来られている方が多い。箕面駅前に立地する利便性の高さが反映されていると思われる。

サンプラザの利用状況

【1】利用している公共施設と利用頻度

		利用頻度					
		全体	月に4回以上	月に2～3回	月に1回	2ヶ月に1回程度	年4回程度
利用施設	全体	123(人) 100.0%	37 30.1%	42 34.1%	34 27.6%	5 4.1%	5 4.1%
	3階 市民ギャラリー	3 2.4%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%
	4階 会議室	31 25.2%	9 7.3%	14 11.4%	5 4.1%	2 1.6%	1 0.8%
	6階 多目的室	15 12.2%	6 4.9%	4 3.3%	4 3.3%	1 0.8%	0 0.0%
	7階 会議室	42 34.1%	10 8.1%	11 8.9%	18 14.6%	1 0.8%	2 1.6%
	7階 和室	21 17.1%	9 7.3%	10 8.1%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%
	8階 大会議室	10 8.1%	1 0.8%	2 1.6%	5 4.1%	1 0.8%	1 0.8%
	その他	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

サンプル総数が90人を超えるのは、複数回答による。

ほぼ毎週を含め、月に2～3回以上利用している人が全体の64.2%を占め、特に7階や4階の会議室の利用頻度が高いことから、アンケート結果の傾向は、会議や市民サークルグループ等で定期的に利用されている方からの意向の割合が高いと考えることができる。

【2】公共施設の利便性と利用頻度

		施設利用頻度						
		全体	月に4回以上	月に2～3回	月に1回	2ヶ月に1回程度	年に4回程度	無回答
施設利便性	全体	90(人)	27	29	26	3	4	1
	使いやすい	62	15	21	22	1	3	0
	使いにくい	10	3	3	2	1	1	0
	どちらでもない	18	9	5	2	1	0	1

回答者全体の68.9%が、使用している公共施設を「使いやすい」と回答している。概ね「使いやすい」という回答を得ているが、施設利用頻度が月に4回以上、2～3回、1回のそれぞれのサンプル数はほぼ同数なので、そこから施設利便性と利用頻度との相関関係を見ると、月に1回利用している人の84.6%、月に2回～3回利用している人の72.4%、月に4回以上利用している人の55.5%が、利用している公共施設を「使いやすい」と答えており、利用頻度が高いほど「使いやすい」と思う人が減っている。

自由回答の結果、「使いやすい」と答えた方の理由は、大半は「駅から近くて便利」「利用料金が安く、借りやすい」といった部屋を借りる際の利便性である。また、「7階会議室は明るくてよい」「会議室は机の配置がそのまま使えるのがよい」等も見られた。

「使いにくい」もしくは「どちらでもない」と答えた方の理由は、「備品、用具の保管場所に乏しい」「椅子が重たく、高齢者に使いづらい」「和室は使いやすいが畳が古い」「窓がない部屋は暗く使いにくい」等であった。

【3】共用部の利便性と利用頻度

		施設利用頻度						
		全体	月に4回以上	月に2~3回	月に1回	2ヶ月に一回程度	年4回程度	無回答
共用部利便性	全体	90(人)	27	29	26	3	4	1
	使いやすい	50	14	16	15	2	3	0
	使いにくい	16	5	7	4	0	0	0
	どちらでもない	24	8	6	7	1	1	1

回答者の55.6%が、共用部（入口、廊下、階段、エレベーター、トイレ等）を「使いやすい」と回答している。公共施設の利便性に比べると、若干評価が低い。月に1回利用している人の51.9%、月に2回~3回利用している人の55.2%、月に4回以上利用している人の57.7%が「使いやすい」と答えており、利用頻度によって傾向の大きな差異は見られない。

自由回答の結果、「使いやすい」と答えた方の理由は、「共用部の場所が分かりやすい」「階段が広い」「トイレが清潔」であった。

「使いにくい」もしくは「どちらでもない」と答えた方からは、設備面と内装面がそれぞれ指摘されている。設備面はエレベーターとトイレに対してであり、エレベーターは「場所が分かりにくい」「ロビーが閉鎖的」「なかなか来ない」「開閉が早い」等、トイレは「狭い」「洋式が少ない」「排水が臭う」「荷物掛けがない」等が不満な点として上がっている。

内装面では、「デザイン、色が親しみにくい」「寂しい雰囲気」「暗く、不安」等が不満な点として上がっている。

【4】館内情報と利便性

		公共施設利便性			
		全体	使いやすい	使いにくい	どちらでもない
館内情報	全体	90(人)	62	10	18
	分かりやすい	48	41	3	4
	分かりにくい	8	2	2	4
	どちらでもない	34	19	5	10

		共用部利便性			
		全体	使いやすい	使いにくい	どちらでもない
館内情報	全体	90(人)	50	16	24
	わかりやすい	48	37	3	8
	わかりにくい	8	1	3	4
	どちらでもない	34	12	10	12

回答者全体の約半数（53.3%）が館内情報を「分かりやすい」と答えている。公共施設、共用部共に、「使いやすい」と答えている人が館内情報を「分かりやすい」と答えている場合が多い傾向が見られ、館内情報のサービス向上の必要性がうかがえる。

自由回答の結果、「使いやすい」と答えた方の理由は、「エレベーターホールに掲示板がありよく分かる」「初めての人が参加するのに便利」であった。

「使いにくい」もしくは「どちらでもない」と答えた方の理由は、「黒板だけでは分かりにくい」「エレベーターホール横の掲示板上で教室の案内をさせてほしい」「受付や案内は1階にある方がよい」「エレベーターで上階に上がらないと分からない」であり、情報媒体や内容の充実、場所の改善が指摘されている。

【5】商業店舗の利用頻度

		公共施設の利用頻度						
		全体	月に4回以上	月に2～3回	月に1回	2ヵ月に1回程度	年に4回程度	無回答
商業店舗の 利用頻度	全体	90(人) 100.0%	27 30.0%	29 32.2%	26 28.9%	3 3.3%	4 4.4%	1 1.1%
	月に4回以上	22 24.4%	7 7.8%	7 7.8%	6 6.7%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%
	月に2～3回	18 20.0%	3 3.3%	9 10.0%	5 5.6%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
	月に1回	26 28.9%	8 8.9%	5 5.6%	10 11.1%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
	利用しない	24 26.7%	9 10.0%	8 8.9%	5 5.6%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%

サンプラザ内の公共施設と商業店舗のそれぞれの利用頻度をクロス集計したものである。

公共施設を利用する時のみ下階の商業店舗を利用するのではなく、公共施設は殆んど利用していないにも関わらず、商業店舗をほぼ毎週利用している場合があることがわかる。

しかし、集計サンプル数を見ると、公共施設を月2～3回以上利用する人が全体の62.2%いるのに対し、商業店舗を月2～3回以上利用する人は全体の44.4%と相対的に低くなっている。商業施設を「利用しない」と答えた人は全体の26.7%を占めており、その利用頻度は余り高いとはいえない。一因として、食品スーパーが撤退し、日常利用する最寄品を取扱う規模が大きいことの影響も考えられる（ ）。

自由回答では、最も要望が多いものは最寄品や飲食店関係であり、90人のうち25.6%が、サンプラザの商業店舗にあればよいと思う業種、要素について、「スーパー」「食料品」「日用品」「雑貨」と回答している。また、13.3%が「飲食店」「居酒屋」「喫茶店」と回答している。他には、「地場産業のモデルショップ」や「ビデオレンタル」「コンビニエンスストア」「スポーツジム」等の要望が上がっている。

- () 現在の商業店舗の業種構成は、衣料品、身の回り品小売、アクセサリ、飲食店、食料品、医薬品、化粧品、本、文具、美容品他。そのうち、衣料品が約4割弱を占め、飲食店及び食料品は1割程度である。

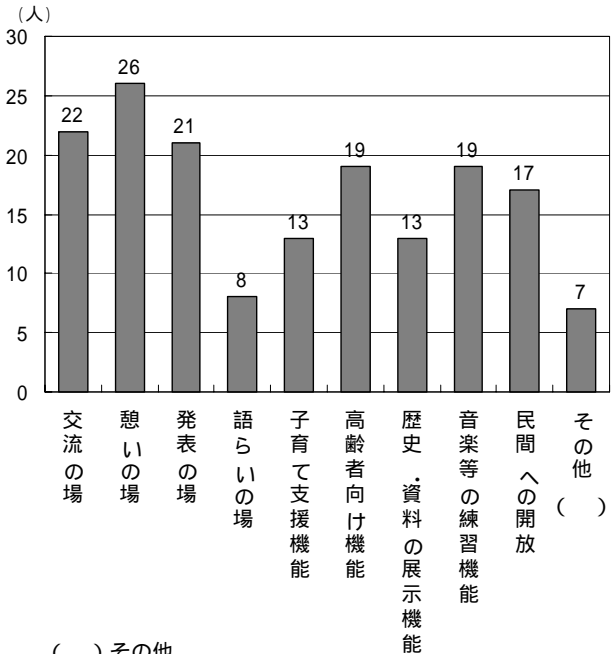
サンプラザ内の公共施設の再編について

【1】サンプラザにあればよいと思う公共機能

サンプラザにあればよいと思う公共機能として、「憩いの場(休憩スポット)」、「交流の場」、「発表の場」の要望が高い。個々のサークル活動等の合間に自由にくつろぎ、コミュニケーションを図れる場所や、活動の発表を行う場所を十分に確保し、より豊かな生涯学習施設として再編することが重要課題であると考えられる。

次いで、「高齢者向け機能」や「音楽等の練習機能」、「民間への開放」等の要望が高く、民間活力の導入を視野に入れた、施設機能の拡充についても要検討課題である。

サンプラザにあればよいと思う公共機能

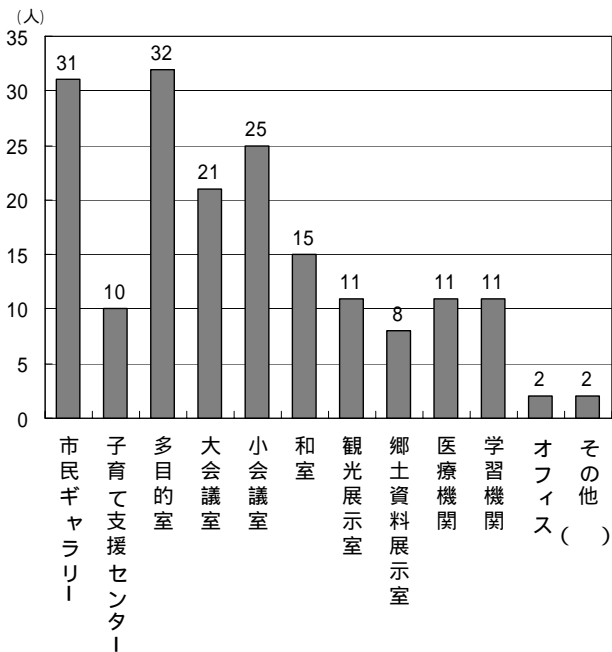


- () その他
- ・大学のサテライトキャンパス
 - ・市役所の分室、サービスカウンター
 - ・喫煙室 ・映像機器の貸出 ・PC、印刷機
 - ・温泉

【2】サンプラザにあればよいと思う公共施設

サンプラザにあればよいと思う公共施設として、「多目的室」、「市民ギャラリー」、「小会議室」の要望が高い。現在、会議やサークル活動に使っている方の公共施設利便性に対する評価も高く、また、市民ギャラリーは現在も市民展等で、同施設にとってなくてはならないものであり、引き続き利用していきたいという要望が反映されていると思われる。これらをより便利で、快適に利用できる施設として改善することが重要課題であり、同時に施設機能の拡充の要望にこたえるべく、新たな機能を導入することが要検討課題である。

サンプラザにあればよいと思う公共施設



- () その他
- ・大学
 - ・展示スペース

(4) パブリックコメント

検討懇話会での意見集約やアンケート調査結果を参考にして作成した「みのおサンプラザ等公共施設再配置(案)」について、平成17年5月20日～6月15日の約1ヶ月間、市民に対するパブリックコメントを実施した。本市のホームページ上及び各公共施設での公表により意見を募集し、90人、165件の提言を受けた。

基本コンセプト・レイアウトの素案について市民の意見を募集するとともに、方針検討段階にあった郷土資料館の全面移設の是非について二つの案を提示し、市民の意向を伺った。

ここでは、特にポイントとなった郷土資料館の移設についての意見と、要望が多かった地域の福祉活動拠点の設置に対する意見を掲載する。

郷土資料館の移設についての意見

	賛成意見	課題提案	反対意見
サンプラザへの移設について	<ul style="list-style-type: none"> 駅前には集客力、交通利便性が高く立地的に好機。現在地よりも人が立ち寄りやすいと思われる。 市民である自覚と興味が増すとと思われる。 年間110万人の観光客を迎える街として、その姿を発信する施設が駅に近づくことは有効的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場、サンプラザの外観改修等を含め、郷土資料館があることのメッセージを発信、誘導する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理にかかる経費や防災の面で雑居ビルの地下に設置すべきでない。 教育機関、学術機関としてならば、他所に移設すべきである。
資料館のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> 自然に魅かれる人は歴史にも関心を寄せる。「ふるさとを感じるまち」の具現化につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 懐古型ではなく未来志向型の「箕面歴史館」へと拡充すべき。 体験学習室を活かし、観光地とも連動した参加体験型の企画が必要。 学習スペースの確保。 文化財、国宝級の歴史財産の展示。 イベント・講座について、TMO、他団体と連携すべき。 資料館や運営に、エンターテインメント性を持たせるべき。 サテライトにして映像を駆使する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の郷土資料館は教育施設として児童生徒に対する体験型施設としての効果は絶大だが、多少の改変では、集客施設としての転換はできない。これまでの教育的効果が無に帰す恐れがある。

地域の福祉活動拠点設置に対する要望

- ・市内に福祉施設は多くあれど、高齢者がいつでも自由に集まれる場所がない。
- ・サンプラザは立地条件もよく、高齢者、障害者が来やすい場所である。
- ・子育て支援センターに、親子と高齢者の相互交流機能が生まれてもよい。
- ・北小地区は高齢者が非常に多い。
- ・現在の北小地区のコミュニティセンターは山麓線下の不便な場所にある。
- ・北小地区福祉会の活動拠点を設置してほしい。
- ・福祉はお年寄りから赤ちゃんまで関わっている。
- ・福祉活動拠点の設置による、老若男女の往来は計り知れないと同時に、サンプラザへの地域市民の愛着を育てることになると思われる。

これら以外にもコンセプト及び、再配置する施設機能について様々な意見が寄せられた。29ページ以降の基本方針、再配置計画は、それらパブリックコメントの結果を受け、市の方針に基づき精査、反映した上で、最終的な取りまとめを行ったものである。